

# せいしだより

笠田高校生徒指導部第257号

令和3年 1月25日 発行

## 新学期のスタートは順調ですか？

皆さん、今年はどんな一年にしたいですか？今年の**目標や抱負**は決まっていますか？1・2年生は**進級**、3年生は**卒業**に向けて、気持ちも新たに頑張ってください。1・2年生は充実した高校生活を送るために、3年生は残された高校生活を有意義に過ごすために、自分自身をしっかりと見つめ直し、一年の計画を立ててください。3学期になってから、朝の寒さのせい

か、寝坊して遅刻する人、あわてて登校するために、ネクタイ・リボンを忘れる人が増えています。早寝早起きを心がけ、前日に準備を済ませておくなど生活リズムが崩れない工夫をすることが大切です。気持ちを引き締めて、規則正しい生活を送るようにして下さい。**寒さに負けることなく、いろんな事にチャレンジしてみよう！**



## ●卒業まであとわずか・・・

3年生は学年末考査が終わり、自宅学習期間となりました。高校生活のゴールは、すぐそこまで来ています。今後は、登校日、卒業式の予行と卒業式当日の3日のみとなります。それぞれの進路先に向けての準備で忙しくなっていることでしょう。気持ちも学校から離れがちですが、卒業するまでは笠高生であることを自覚して、行動には十分に責任を持ってください。進路の関係で、既に運転免許を取得している人は、**卒業するまでは自動車や単車の運転を絶対にしない**で下さい。**同級生が運転する自動車やバイクに同乗することも禁止**です。また、普段電車通学をしていた人は、定期券の期限が切れていることもあります。必ず、目的地まで正しく切符を購入して下さい。不正乗車（**無賃乗車及び期限切れ定期の不正使用、定期券の貸し借り等**）は絶対にしないこと。その他、飲酒や喫煙、深夜徘徊など、甘言に惑わされることなく、最後の高校生活を充実したものにしてください。高校生活の最後の最後で指導を受けるということのないようにしてください。

★3年生全員が、**元気な顔で卒業の日を迎えられることを楽しみにしています♪**

## ●頭髪でチェックされた人は・・・

冬休み明けに、頭髪服装検査を行いました。今回チェックを受けてまだ直していない人は、頭髪を正しく直して、生徒指導室に見せに来て下さい。毛先の傷みや頭皮の痛みなどで事情がある場合でも、生徒指導室まで相談に来て下さい。3年生については、**2月10日（水）に頭髪服装検査がありますので、休みの間に染髪・パーマは厳禁**です！

## ★コロナウイルス感染予防対策を！

感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染です。人と人との距離をとること（ソーシャルディスタンス）、外出時はマスクを着用する、家の中でも咳エチケットを心がける、さらに家や教室の換気を十分にする、十分な睡眠などで自己のみならず、他の人への感染を回避するとともに、他の人に感染させないように徹底することが必要です。

また、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。無症状の人からの感染の可能性も指摘されており、油断は禁物です。

これらの状況を踏まえ「3密」の回避、マスク着用、石鹸による手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒や咳エチケットの励行などが大切です。

## ●防寒着のルール！！

### ★セーター★

・紺色Vネックセーターもしくは学校指定のベストに限ります。

### ●ネクタイ・リボンが見えるように

黒・茶・灰色などのセーター、カーディガン、トレーナーの着用は禁止です。**登下校の時は、必ずブレザーを着用**して下さい。

セーターやコートのみでの登下校は厳禁です。

### ●マフラー・手袋・コート●

・**校内では絶対に着用しないこと**。特に、マフラーを首に巻いたままで、校内を歩いたり、授業を受けたりしないで下さい。

### ◆ひざ掛け◆

・ひざ掛けを腰に巻きつけて教室を移動したり、授業中に肩からかぶったりしないで下さい。

### ◆体操服◆

・スカートの下に冬用体操服を着用してはいけません。



**制服は、言わばその学校の顔。それを着るということは、一人ひとりが笠高の顔になるのです。そのことに誇りを持って下さい。また制服着用時は、その人がその組織の一員であるという意志表示です。私服を着用しているときと、自ずと意識は違うはず。制服はオシャレをするための物ではないということを忘れないでね！**

## ●マナーを守ろう！

**みんなが気持ちよく過ごせるために！**

学校外で電車やその他施設を使用する際、人目をはばからず大声でしゃべったり、ゴミをポイ捨てしたりしていませんか？公共の場所で、ついつい「自分さえよければ」という心が顔を覗かせてはいませんか？自分では気づかないことでも、他の人を不快にさせていることがあるのです。周りを見渡してみよう。自分以外にも、同じようにその施設を必要とし、使用する人がいるのです。ほんの少しの気遣いで、みんなが気持ちよく過ごすことができるようになるのです。